

2024(令和6)年度分【交付決定分】

研究種目・区分	所属 (R6年度時点)	職位 (R6年度時点)	氏名	研究課題名
1 基盤研究(S)	獣医学部	教授	菊水 健史	ヒトイヌ共生によるWell-beingの向上—身体・向社会性・社会ネットワークの強化との関連
2	獣医学部	教授	高木 哲	動物を用いた実験実習教育映像教材の開発とその評価方法の検討
3	獣医学部	教授	伊藤 潤哉	哺乳類卵の受精・胚発生を制御する垂鉛シグナルの機能解明
4	獣医学部	准教授	永澤 美保	イヌとの共同生活によるSocial exerciseの向上とヒト健康社会の実現
5	獣医学部	准教授	西田 英高	間葉系幹細胞エクソソームを用いた治療の基盤技術の開発と脊髄再生誘導への応用
6 基盤研究(B)	生命・環境科学部	教授	石原 淳子	AI画像解析を活用した集団レベルの食事評価を目的とする調査法の開発・検証
7	獣医学部	教授	吉岡 耕治	牛卵巣のAI超音波画像診断による新規生殖機能評価法の開発
8	獣医学部	講師	大我 政敏	円形精子細胞から持ち込まれたエピゲノムの消去はROSI胚の低発生能を改善するのか
9	獣医学部	講師	永根 大幹	老化細胞除去剤(セノリティクス)は放射線発がんリスクを低減するか
10	獣医学部	講師	寺川 純平	子宮の形態形成を支える必須微量元素の分子基盤と細胞動態の解明
11	生命・環境科学部	准教授	西脇 洋一	教養教育としての人工知能教育
12	獣医学部	准教授	紙透 伸治	活性窒素種から細胞を保護するpestalotioquinol Aの作用機構解析
13	生命・環境科学部	教授	大田 ゆかり	プラスチック生分解が引き金となる難分解添加剤放出による海洋環境汚染の加速評価基盤
14	獣医学部	教授	長井 誠	ピローム解析による野生イノシシの腸内ウイルスコミュニティの解明と豚との比較
15	獣医学部	教授	柏崎 直巳	ブタ前核期胚ガラス化保存法の改良とそのゲノム編集技術への応用に関する研究
16	生命・環境科学部	教授	新倉 保	授乳期に特異的なマラリア病態とその分子メカニズムの解明
17	生命・環境科学部	教授	大河内 由美子	将来の気候変化が大気エアロゾル中レジオネラ濃度の変動に及ぼす影響評価
18	生命・環境科学部	准教授	中野 和彦	蛍光X線分析法によるマイクロプラスチック中微量元素の精密定量法の開発
19	獣医学部	教授	田中 和明	ニホンカモシカの全ゲノム解読および地理的遺伝構造の解明
20	獣医学部	講師	根尾 櫻子	微量の肝細胞から長期培養可能な犬の人工肝臓を作出する
21	生命・環境科学部	助教	新田 梢	昼咲き種と夜咲き種における花時計遺伝子の比較と光の影響の解明
22	生命・環境科学部	教授	松下 暢子	精巣におけるクロマチン再構築によるDNA損傷応答の解明
23	生命・環境科学部	教授	寺田 晃士	iPS細胞の応用による腫瘍微小環境のT細胞抑制効果に耐性をもつ新規T細胞製剤開発
24 基盤研究(C)	生命・環境科学部	准教授	曾川 一幸	質量分析計によるβ-ラクタム系・カルバペネム系抗菌薬の薬剤感受性試験の臨床応用
25	生命・環境科学部	教授	武田 守	補完代替医療による口腔顔面痛の緩和:フィトケミカルの局所麻酔/抗炎症薬の可能性
26	獣医学部	准教授	宗綱 栄二	ヒトiPS細胞由来オルガノイドを用いたフルクトースによる疾患形成メカニズムの解明
27	生命・環境科学部	教授	小玉 敏也	人口減少地域におけるESD促進のための学校版社会的インパクト評価の開発
28	生命・環境科学部	教授	福井 智紀	科学技術と環境に関する意思決定・合意形成を支援する参加型思考ツールの開発
29	獣医学部	准教授	三澤 宣雄	長頭犬種の鼻腔形状を模した構造による嗅覚受容体発現匂いセンサの高感度化
30	生命・環境科学部	准教授	小林 直樹	潜在のカビ毒産生菌種を利用したカビ毒生成抑制メカニズムの解明
31	獣医学部	教授	大木 茂	アニマルウェルフェア配慮型畜産の経営的存立基盤の研究—加工・販売を含む類型化—
32	獣医学部	講師	加瀬 ちひろ	野生動物の警戒行動の定量的評価—動物種差と対象物の視覚刺激の影響—
33	獣医学部	准教授	塚本 篤士	ドラッグリポジショニングによる犬悪性腫瘍の新規治療法の開発
34	獣医学部	教授	田原口 智士	フクロウから分離した新規アデノウイルスの病原性と性状の解析
35	獣医学部	講師	峰重 隆幸	ペリオスチンに着目したネコの口腔扁平上皮癌の高悪性化機序の解明
36	獣医学部	教授	山田 一孝	牛の臨床現場におけるDigital Radiography(DR)を利用した厳格な治療適応基準の確立
37	獣医学部	講師	相原 尚之	牛伝染性リンパ腫ウイルスによる体腔内脂肪組織特異的なB-1a細胞腫瘍化機構の解明

2024(令和6)年度分【交付決定分】

38		獣医学部	教授	山下 匡	炎症性腸疾患におけるスフィンゴ糖脂質による治療を目指した基礎的研究
39		獣医学部	教授	茂木 一孝	幼少期の触刺激による社会性発達の神経メカニズムおよび生理的意義の解明
40		獣医学部	教授	島津 徳人	TRPチャネルを標的とした関節リウマチの補完代替療法:ルテインによる予防緩和効果
41		生命・環境科学部	教授	伊藤 彰英	首都圏河川水中の希土類元素及びその他レアメタルの広域潜在的汚染調査と毒性評価
42		獣医学部	准教授	戸張 靖子	小鳥の家畜化から探る、寛容性の遺伝基盤
43		獣医学部	講師	今野 晃嗣	臭気探知犬の発達過程に对人注視行動が及ぼす影響
44		生命・環境科学部	教授	澤野 祥子	筋萎縮抑制に寄与する鶏卵成分の同定とその分子メカニズムの解明
45	基盤研究(C)	生命・環境科学部	助教	坂西 栞里	Anisakis simplexはどのようにして魚肉に高率に侵入するのか
46		獣医学部	准教授	鈴木 武人	ウシのルーメン発酵産物による体内時計調節と繁殖能改善へのアプローチ
47		獣医学部	准教授	岡本 まり子	ニコチンアミドによるイヌ肥満細胞腫の死と生のシグナルバランス制御の理解に向けて
48		獣医学部	講師	梶 典幸	消化管筋層の恒常性維持およびその破綻の過程におけるオンコスタチンMの機能解明
49		生命・環境科学部	教授	新倉 保	マラリアを基軸とした原虫感染症における宿主組織修復機構の解明
50		獣医学部	講師	藤野 寛	内在性レトロウイルス由来カプシドを介したウイルス感染補助機構の解明
51		生命・環境科学部	准教授	水口 真理子	リンパ節に局在するATL細胞の増殖機構の解明
52		生命・環境科学部	教授	関本 征史	両生類におけるAhR活性化と変態遅延を指標とした環境中医薬品類の生態リスク評価
53	挑戦的研究(萌芽)	獣医学部	講師	大我 政敏	受精後たった1日の間に生じるエピジェネティックな記憶の次世代への継承
54		生命・環境科学部	講師	小手森 綾香	日本人中高年者における炎症関連食事パターンスコアの開発と妥当性検証
55		獣医学部	講師	梶 典幸	カハール介在細胞と腸内細菌のクロストーク解明
56		獣医学部	特命研究員	中嶋 章悟	B型肝炎ウイルス由来ポリメラーゼと非核酸系逆転写酵素阻害剤の関係解明
57		生命・環境科学部	講師	城山 光子	日本における鞭虫症の感染源がニホンザルであることを立証し、感染予防対策を提唱する
58		獣医学部	特任助手	清水 稀恵	幼若期の愛着スタイルが招く社会行動発達への影響
59	若手研究	獣医学部	助教	石田 大歩	鶏卵及び低温環境に馴化させたD型インフルエンザウイルス弱毒生ワクチン候補株の開発
60		獣医学部	助教	西 晃太郎	臓器由来マトリックスの力学特性がもたらす腎線維化・炎症制御の解明
61		生命・環境科学部	講師	鬼頭 久美子	トランス脂肪酸摂取量の曝露評価方法の基礎的検討および死亡リスクとの関連
62		獣医学部	特任助教	子安 ひかり	ネコにおけるマルチモーダルなHomophilyを生む遺伝的メカニズムの解明
63		獣医学部	助教	志賀 崇徳	筋ジストロフィーにおいて骨格筋障害に先行して起こる心不全の電気病理学的解明
64		獣医学部	特命研究員	吉本 翔	固形がんによる機能抑制に打ち勝つイヌのmultipleスイッチレセプターCAR-T細胞の開発
65		生命・環境科学部	講師	小山 雄一	免疫チェックポイント分子B7-H3とオートファジーの共制御による尿路上皮癌の抑制
66	研究活動スタート支援	獣医学部	助教	堀 香織	乳用牛の難治性蹄病における病変部細菌群の病変深度別網羅的解析
67		獣医学部	特任助教	影山 敦子	マウス卵巣での卵胞卵形成における垂鉛シグナルの機能解明
68		獣医学研究科	大学院学生	篠田 公美	イヌはどのようにヒト集団へ入ったのか:内分泌変化に基づく新奇物への反応から
69	特別研究員奨励費	獣医学研究科	特別研究員(RPD)	高木 佐保	言語進化メカニズムの解明—半家畜化ネコを用いた内分泌と遺伝子の機能—
70		獣医学研究科	特別研究員(PD)	中村 暢宏	PD-L1阻害薬の治療成績向上を目指した腸内細菌叢制御を介するファージ療法の確立
71		獣医学研究科	大学院学生	工藤 綾乃	がん関連線維芽細胞による機能抑制を活性化に逆転するイヌCAR-T細胞療法の開発
72	奨励研究	獣医学部	特任助教	影山 敦子	哺乳類の受精時における新規卵活性化因子の同定および機能解析【補助事業廃止】